

黒部市 発表
令和4年12月20日(火)

報道関係者 各位

【照会先】

黒部市民病院

総務課長 池田 秀之

総務課係長 徳本 しのぶ

電話 0765(54)2211

新型コロナウイルス感染症対応医療機器整備

黒部市民病院では、今冬の新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備え、院内の感染症対応を強化することとし、下記の機種を整備し稼働を始めました。整備に当たっては、感染症の拡大状況等に鑑みて迅速な整備が必要と判断し、令和4年11月14日専決処分において予算化しました。

【設置機器①】

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 1. 設置機器 | 可動式隔離ユニット (通称：レディールーム) 1セット |
| 2. 設置部署 | 救命救急センター |
| 3. 稼働開始 | 令和4年12月14日(水) |
| 4. 購入額 | 4,312千円 |
| 5. 概要 | |

移動が可能な組立て式の隔離ユニットで、拡張時には患者1名を診るための十分なスペースが確保されます。ユニット内を陰圧に保ち、高性能フィルターを通して1時間に12回の換気を行い、室内の汚染された空気を外部に漏らさない隔離室として機能します。

当院では、救命救急センターに設置し、感染症が疑われる救急患者の受入れを強化します。

県内では初の導入となり(北陸では福井県立病院に次いで2例目)、スペースがあれば短時間で隔離室を設置できることから、災害時にも有効活用が可能です。



格納時

W740 mm × D767 mm × H1378 mm



展開時

W2770 mm × D3440 mm × H2102 mm

【設置機器②】

1. 設置機器 空気感染隔離ユニット（通称：ミンティ） 2セット
2. 設置部署 新型コロナウイルス感染症入院患者の受入病棟（50床）
3. 設置日 令和4年12月14日（水）
4. 購入額 4,400千円
5. 概要 陰圧機とテントを用いた空気感染隔離装置で、入り口や廊下など設置場所を工夫することにより、病室のみ、病棟の一部、病棟全体など、フレキシブルに環境を封じ込むことが可能です。

当院では、新型コロナウイルス感染症入院患者受入病棟（50床）の廊下2カ所に設置することで、病棟内から病棟外に汚染空気が流出することを防ぎ、院内感染を防止するとともに安心・安全な療養環境を提供し、感染症の拡大を防止します。

